



日本生殖看護学会 関西地区勉強会のご案内



【日時】 平成 30 年 12 月 2 日(日) 13:00~16:00 (受付開始時間 12:30 より)

【場所】 IVF なんばクリニック (マーメイドホール)

【テーマ】 着床前診断について考える
~異数性検査を含めたその現状と課題~

【目的】

遺伝病や染色体転座を対象としている着床前診断の臨床研究は、日本産婦人科学会の承認をもとに国内でも行われています。今後は遺伝的要因がご夫婦になくとも自然に生じる受精卵の染色体異常を調べる染色体検査(着床前異数性検査)が実施できる時代へと変化していくことが考えられます。

胚移植前に受精卵の検査を希望、実施する場合、実施方法、検査のメリットとデメリット、また倫理的な問題など十分な情報提供が必要となり、私たち医療者側のサポートがとても重要となります。

そのため今回の勉強会を通じて得られた知識を踏まえて、今後の看護に活かせるように学びを深めていきたいと考えています。

【講師】

IVF なんばクリニック 院長 中岡義晴先生

IVF なんばクリニック 遺伝カウンセラー 庵前 美智子先生

【プログラム】

13:00~13:05 オリエンテーション

13:05~13:35 IVF なんばクリニック 院長 中岡 義晴先生

13:35~14:05 IVF なんばクリニック 遺伝カウンセラー 庵前 美智子先生

14:05~14:15 休憩

14:15~15:20 グループワーク

15:20~15:40 発表

15:40~16:00 まとめ・アンケート記入

【参加費】 1,000 円 (非会員は 1,500 円 資料代含む)

【定員】 50 名 定員になり次第受付終了とする場合がございます

【申し込み・問い合わせ】

参加される方の氏名・会員か非会員・所属・職種・連絡先(電話番号と E-mail)を明記の上、平成 30 年 11 月 19 日(月)までに下記へメールまたは FAX でお申込み下さい。

HORAC グランフロント大阪クリニック 不妊症看護認定看護師 佐野郁美

E-mail sano354@ivfjapan.com

FAX 06-6377-8836

【アクセス】 〒550-0015 大阪市西区南堀江 1 丁目 17-28 なんば SSビル 3F
詳しくは IVF なんばクリニックのホームページをご覧ください

